

2018/12/21

H30年度 第3回ヘルスサービスリサーチセミナー 開催のお知らせ!

好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2019年1月7日(月)

時間 : 14:00~15:30

場所 : 筑波大学医学系学系棟4階483室

講師 : 村松 尚子 (Naoko Muramatsu, PhD, MHSA, FGA)

Associate Professor, Division of Community Health Sciences, School of Public Health Fellow,  
Institute for Health Research and Policy, University of Illinois at Chicago)

講演タイトル : Promoting Healthy Aging through Global Research Initiatives/ヘルシーエイジングの推進とグローバル研究の方向性

公開セミナーの為参加自由です。参加ご希望の方はお名前・連絡先を添えて、下記(担当:森田)までお申し込みください。

TEL : 029-853-3482、8849 FAX : 029-853-8849

e-mail : morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp 担当者: 森田

主催: 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1

詳細は[こちら](#)

2018/12/20

論文受理、おめでとうございます!

★非常勤研究員 佐藤幹也先生の論文が 厚生指標 に受理されました。

佐藤幹也, 前野哲博, 田宮菜奈子. 高齢化に伴う今後の外来診療需要の推計と総合診療の役割. 厚生指標, accepted 2018

2018/12/11

論文受理、おめでとうございます!

★客員教授 阿部智一先生の論文が Scientific Reports に受理されました。

Aoki M, Abe T, Saitoh D, Oshima K. Epidemiology, Patterns of treatment, and Mortality of Pediatric Trauma Patients in Japan, Scientific Reports, accepted 2018

2018/11/29

ご注意ください! 次回の28th HSR研究会の開催場所が、下記の通り変更となりました。

好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2018年12月21日(金)

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス **文京校舎117講義室(←320室から変更となりました)**

①18:30~19:15 タイトル "つなぐ力で医療を支える~医師同士をオンラインでつなぐ新しい医療の仕組み~"

演者: 中山俊(アンター株式会社, 翠明会山王病院)

②19:15~20:00 タイトル "日本の疾病負荷~停滞する健康指標と拡大する健康格差~"

演者: 野村周平(東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際社会医学講座)

詳細は[こちら](#)。

2018/11/29

論文掲載、おめでとうございます! クリックすると公開論文のPDFがご覧になれます

★本学非常勤講師&非常勤研究員 黒田直明先生の論文が International Journal of Geriatric Psychiatry に掲載されました。

[Naoaki Kuroda, Shota Hamada, Nobuo Sakata, Boyoung Jeon, Katsuya Iijima, Satoru Yoshie, Tatsuro Ishizaki, Xueying Jin, Taeko Watanabe, Nanako Tamiya. Antipsychotics use and related factors among people with dementia aged 75 years or older in Japan: a comprehensive population-based estimation based on medical and long-term care data. International Journal of Geriatric Psychiatry, https://doi.org/10.1002/gps.5041, released online 27 November 2018](#)

2018/11/26

28th Health Services Research Seminar!

日付 : 2018年12月21日(金)

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス **文京校舎320室→117講義室に変更です!!!**

①18:30~19:15 タイトル "つなぐ力で医療を支える~医師同士をオンラインでつなぐ新しい医療の仕組み~"

演者: 中山俊(アンター株式会社, 翠明会山王病院)

②19:15~20:00 タイトル "日本の疾病負荷~停滞する健康指標と拡大する健康格差~"

演者: 野村周平(東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際社会医学講座)

♪♪♪♪♪

本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日(3月8日予定)があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名: ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号: 02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添えて下記連絡先までお申込みください。

受付担当: 秘書(森田千代) : [morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います(¥3,000) こちらもご参加ください。

\*なお、この研究会はオープンですが、事前登録制です。研究途上のものであるので、資料配布なし 撮影禁止、研究内容についても

本研究会の議論の場のみとしますので、内容の転送などもご遠慮ください。  
詳細は[こちら](#)。

2018/11/26

論文掲載、おめでとうございます！ クリックすると公開論文のPDFがご覧になれます

★客員教授 阿部智一先生の論文が Critical Care に掲載されました。

[Abe T, Ogura H, Shiraishi A, Kushimoto S, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Shiino Y, Nakada T, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi S, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST study group. Characteristics, management, and in-hospital mortality among patients with severe sepsis in intensive care units in Japan: the FORECAST study. Critical Care 2018; 22: 322. <https://doi.org/10.1186/s13054-018-2186-7>, 2018](#)

2018/11/15

論文掲載、おめでとうございます！ クリックすると公開論文のPDFがご覧になれます

★客員教授 阿部智一先生の論文が American journal of emergency medicine に掲載されました。

[Yohei Hirano, Toshikazu Abe, Hiroshi Tanaka. Efficacy of the presence of an emergency physician in prehospital major trauma care: A nationwide cohort study in Japan. American journal of emergency medicine, DOI: <https://doi.org/10.1016/j.ajem.2018.11.014>, 2018](#)

2018/11/11

【開催報告】一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) 第32回定例研究会：「骨粗鬆症に関する費用対効果分析」(森隆浩准教授によるご講演)

★准教授 森隆浩先生が、10月31日に、HiAS Health 第32回定例研究会にて、「骨粗鬆症に関する費用対効果分析」についてご講演されました。詳細は[こちら](#)

2018/11/04

論文受理、おめでとうございます！★本学非常勤講師&非常勤研究員 黒田直明先生の論文が International Journal of Geriatric Psychiatry に受理されました。

[Naoaki Kuroda, Shota Hamada, Nobuo Sakata, Boyoung Jeon, Katsuya Iijima, Satoru Yoshie, Tatsuro Ishizaki, Xueying Jin, Taeko Watanabe, Nanako Tamiya. Antipsychotics use and related factors among people with dementia aged 75 years or older in Japan: apprehensive population-based estimation based on medical and long-term care data. International Journal of Geriatric Psychiatry, accepted 2018](#)

2018/10/22

第77回日本公衆衛生学会 総会 自由集会「この中に公衆衛生に興味のある若者はいますか!？」

ご参加ありがとうございました。

日本公衆衛生学会総会に参加しているすべての大学生の皆さま、公衆衛生教育に熱意のある方を対象に公衆衛生、行政、保健所、厚生労働省などで活躍するプロトリアルな話題を共有できる自由集會を開催いたします！皆様のご参加をお待ちしております。詳細は[こちら](#)。

日付 : 2018年10月24日(水)

時間 : 18:20~19:50

場所 : 郡山市 市民交流プラザ会議室大会議室2

終了後、懇親会も開催されますので、どうぞご参加ください。

場所: ジンヤキッチンアット jinya kitchen at 024-983-7287

会費: 学部生 1000円、学部生以外 最大6000円

定員: 40名

なお、参加人数把握のため、自由集会・懇親会参加ご希望の方は、事務担当(森田: [morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp))までご連絡ください。

2018/10/14

受賞、おめでとうございます!

★本学助教 岩上将夫先生が 第24回日本薬剤疫学会学術総会において、奨励賞を受賞されました!

受賞演題「腎機能別に見たSSRIの消化管出血リスク: 英国 CPRD を用いたコホート研究」

2018/10/05

学位取得、おめでとうございます!

★本学助教 岩上将夫先生が University of Londonにおいて、Doctor of Philosophy in Epidemiology and Population Health を取得されました!

2018/09/25

論文掲載、おめでとうございます! クリックすると公開論文のPDFがご覧になれます

★本学非常勤講師&非常勤研究員 浜田将太先生の論文が Journal of Epidemiology にオンライン掲載されました。

[Shota Hamada, Hideto Takahashi, Nobuo Sakata, Boyoung Jeon, Takahiro Mori, Katsuya Iijima, Satoru Yoshie, Tatsuro Ishizaki, Nanako Tamiya. Household income relationship with health services utilization and healthcare expenditures in people aged 75 years or older in Japan: A population-based study using medical and long-term care insurance claims data. Journal of Epidemiology,](#)

2018/09/21

27th Health Services Research Seminar!好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2018年10月19日(金)

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 320室

①18:30~19:15 タイトル " 蘭方見聞録-欧州の健康格差と国際比較-"

演者 : 田中宏和 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 医学博士課程4年)

②19:15~20:00 タイトル " 超高齢社会に向けたジェロントロジーとAI活用"

演者 : 中田武男 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所)

♪♪♪♪♪♪

本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日(3月8日予定)があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名 : ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号 : 02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当 : 秘書 (森田千代) : [morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います(¥3,000) こちらもご参加ください。

\*なお、この研究会はオープンですが、事前登録制です。研究途上のものであるので、資料配布なし 撮影禁止、研究内容についても本研究会の議論の場のみとしますので、内容の転送などもご遠慮ください。

詳細は[こちら](#)。

★今年度のHSR研究会は、残り2回、12月21日(第3金曜日)と2月22日(第4金曜日)に、開催を予定しております。★

2018/09/12

論文掲載、おめでとうございます!

★本学客員教授 阿部智一先生の論文が Critical Care Medに掲載されました。

Makoto Aoki, Toshikazu Abe, Daizoh Saitoh, Shuichi Hagiwara, Kiyohiro Oshima. Use of Vasopressor Increases the Risk of Mortality in Traumatic Hemorrhagic Shock: A Nationwide Cohort Study in Japan. Critical Care Med, Volume Online First - Issue - p, doi: 10.1097/CCM.0000000000003428, 2018

[https://journals.lww.com/ccmjournal/Abstract/onlinefirst/Use\\_of\\_Vasopressor\\_Increases\\_the\\_Risk\\_of\\_Mortality.96155.aspx](https://journals.lww.com/ccmjournal/Abstract/onlinefirst/Use_of_Vasopressor_Increases_the_Risk_of_Mortality.96155.aspx)

2018/09/12

論文受理、おめでとうございます!

★本学客員教授 阿部智一先生の論文が Critical Careに受理されました。

Abe T, Ogura H, Shiraishi A, Kushimoto S, Saitoh D, Fujishima S, Mayumi T, Shiino Y, Nakada T, Tarui T, Hifumi T, Otomo Y, Okamoto K, Umemura Y, Kotani J, Sakamoto Y, Sasaki J, Shiraishi S, Takuma K, Tsuruta R, Hagiwara A, Yamakawa K, Masuno T, Takeyama N, Yamashita N, Ikeda H, Ueyama M, Fujimi S, Gando S, JAAM FORECAST study group. Characteristics, management, and in-hospital mortality among patients with severe sepsis in intensive care units in Japan: The FORECAST study. Critical Care, accepted 2018

2018/09/03

研究室に新たに外国人受託研究員 Kim Chan-woo先生 (Catholic University of Korea、教授) がメンバーに加わりました!! 2月末まで、田宮研究室で研究されます。

2018/09/03

論文受理、おめでとうございます! ★本学非常勤講師&非常勤研究員 浜田将太先生の論文が Journal of Epidemiology に受理されました。

Shota Hamada, Hideto Takahashi, Nobuo Sakata, Boyoung Jeon, Takahiro Mori, Katsuya Iijima, Satoru Yoshie, Tatsuro Ishizaki, Nanako Tamiya. Household income relationship with health services utilization and healthcare expenditures in people aged 75 years or older in Japan: A population-based study using medical and long-term care insurance claims data. Journal of Epidemiology, accepted 2018

2018/08/30

論文掲載、おめでとうございます! ★本学客員研究員 森山葉子先生の論文が PLOS ONE に掲載されました。クリックすると公開論文のPDFをご覧になれます

[Yoko Moriyama, Nanako Tamiya, Akira Kawamura, Thomas D. Mayers, Haruko Noguchi, Hideto Takahashi. Effect of short-stay service use on stay-at-home duration for elderly with certified care needs: analysis of long-term care insurance claims data in Japan. PLOS ONE, doi.org/10.1371/journal.pone.0203112, 2018](https://doi.org/10.1371/journal.pone.0203112)

2018/08/29

論文掲載、おめでとうございます! クリックすると公開論文のPDFをご覧になれます

★本学客員教授 阿部智一先生の論文が Critical Careに掲載されました。

[Toshikazu Abe, Fabiana Madotto, Tai Pham, Isao Nagata, Masatoshi Uchida, Nanako Tamiya, Kiyoyasu Kurahashi, Giacomo Bellani, John G. Laffey: Epidemiology and patterns of tracheostomy practice in patients with ARDS in ICUs across 50 countries. Critical Care, 22\(1\) DOI: 10.1186/s13054-018-2126-6 2018](https://doi.org/10.1186/s13054-018-2126-6)

2018/08/27

論文掲載、おめでとうございます！ [クリックすると公開論文のPDFをご覧になれます](#)

★客員研究員（元研究員）、韓国ソウル 大学保健環境 研究所・研究助教の Boyoung Jeon 先生の論文が *Geriatrics & Gerontology International* に掲載されました。

[Boyoung Jeon, Nanako Tamiya, Satoru Yoshie, Katsuya Iijima, Tatsuro Ishizaki: Potentially avoidable hospitalizations, non-potentially avoidable hospitalizations, and in-hospital deaths among residents of long-term care facilities. \*Geriatrics & Gerontology International\*, accepted 2018](#)

2018/08/20

論文受理、おめでとうございます！

★本学客員研究員 森山葉子先生の論文が PLOS ONE に受理されました。

Yoko Moriyama, Nanako Tamiya, Akira Kawamura, Thomas D. Mayers, Haruko Noguchi, Hideto Takahashi. Effect of short-stay service use on stay-at-home duration for elderly with certified care needs: analysis of long-term care insurance claims data in Japan. *PLOS ONE*, accepted 2018

2018/08/03

筑波大学 夏季における休業について（お知らせ）

8月13日から17日まで、筑波大学では、夏季における休業を実施いたします。省エネ及びCO2排出削減に資するとともに、夏季における教職員の心身のリフレッシュ及び今夏の電力抑制に対応することを目的としております。休業期間中は、原則として当研究室の業務を休止いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。詳細は[こちら](#)。

2018/08/01

当研究室 博士課程 平健人さんが、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2018年度（前期）一般公募「在宅医療研究への助成」に採択されました。おめでとうございます！！

2018/08/01

研究室に新たに 渡辺 忍先生（伊藤智子先生の代替教員）がメンバーに加わりました！！

2018/07/31

26th Health Services Research Seminar! [好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。](#)

日付 : 2018年8月24日（金）

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 557室

①18:30~19:15 タイトル未定

演者 : 一原 直昭（東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 特任助教）

②19:15~20:00 タイトル ” ナショナルセンターにおける HSR（糖尿病・レセプト研究を中心に） ”

演者 : 杉山雄大（筑波大学医学医療系 准教授、国立国際医療研究センター糖尿病情報センター医療政策研究室長）

♪♪♪♪♪

本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日（3月8日予定）があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名 : ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号 : 02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当 : 秘書（森田千代） : [morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います（¥3,000）こちらもご参加ください。

\*なお、この研究会はオープンですが、事前登録制です。研究途上のものであるので、資料配布なし 撮影禁止、研究内容についても本研究会の議論の場のみとしますので、内容の転送などもご遠慮ください。

詳細は[こちら](#)。

2018/07/12

日本国際保健医療学会第33回東日本地方会 [ご参加いただき、ありがとうございました。](#)

おかげさまで、盛況のうちに終了いたしました。

ご参加くださった皆様、大変ありがとうございました。

なお、事前にメールアドレスをご登録いただいた方には、当日、写真班が撮影したもののへのリンク（—7月26日まで）をお送りします。

当日参加等でアドレスを登録しておられず、写真へのリンクをご希望の方は、東日本地方会事務局 JAIIH EAST33 <[jaiih.e33@gmail.com](mailto:jaiih.e33@gmail.com)> までメールにてお知らせください。

2018/07/10

論文受理、おめでとうございます！

★本学客員教授 阿部智一先生の論文が *Critical Care* に受理されました。

[Toshikazu Abe, Fabiana Madotto, Tai Pham, Isao Nagata, Masatoshi Uchida, Nanako Tamiya, Kiyoyasu Kurahashi, Giacomo Bellani, John G. Laffey: Epidemiology and patterns of tracheostomy practice in patients with ARDS in ICUs across 50 countries. \*Critical Care\*, accepted 2018](#)

2018/06/18

客員研究員 山岡祐衣先生の超重症児論文の研究内容が筑波大学ホームページに掲載されました!

「超・準超重症心身障害児の医療利用状況に関する実態調査」

<http://www.tsukuba.ac.jp/attention-research/r201806071500.html>

2018/06/12

25th Health Services Research Seminar! : 講演タイトルが変更になりました

好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2018年6月15日(金) ←第3金曜日です。ご注意ください。

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 557室

①18:30~19:15 タイトル “人生の最終段階における医療に関する自治体による普及・啓発の実態：全国の自治体調査から”

演者：柏木 聖代（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護ケア技術開発学 教授）

②19:15~20:00 タイトル “ドイツ介護強化法Ⅱとインタビュー調査”

演者：本澤巳代子（筑波大学医学医療系 客員教授）

詳細は[こちら](#)。

2018/06/01

論文受理、おめでとうございます! クリックすると公開論文のPDFをご覧になれます

★客員研究員(元研究員)、韓国ソウル 大学保健環境 研究所・研究助教の Boyoung Jeon 先生の論文が Geriatrics & Gerontology International に受理されました。

[Boyoung Jeon, Nanako Tamiya, Satoru](#)

[Yoshie, Katsuya Iijima, Tatsuro Ishizaki: Potentially avoidable hospitalizations, non-potentially avoidable hospitalizations, and in-hospital deaths among residents of long-term care facilities. Geriatrics & Gerontology International, accepted 2018](#)

2018/05/21

25th Health Services Research Seminar! 好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2018年6月15日(金) ←第3金曜日です。ご注意ください。

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 557室

①18:30~19:15 タイトル “自治体における人生の最終段階における医療に関する普及啓発の取り組み状況(仮)”

演者：柏木 聖代（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護ケア技術開発学 教授）

②19:15~20:00 タイトル “ドイツ介護強化法Ⅱとインタビュー調査”

演者：本澤巳代子（筑波大学医学医療系 客員教授）

詳細は[こちら](#)。

♪♪♪♪♪

なお、本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日(3月8日予定)があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名：ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号：02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当：秘書(森田千代) : [morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います(¥3,000) こちらもご参加ください。

\*なお、本セミナーは発表前の研究内容を含んでいますので、発表および議論内容の記録、写真撮影、公表などはお控えください。

2018/05/1

研究室に新たに岩上将夫先生(助教)がメンバーに加わりました!!

2018/04/11

論文掲載、おめでとうございます! クリックすると公開論文のPDFをご覧になれます

★クロスアポイント准教授の森隆浩先生の論文が Archives of Osteoporosis に掲載されました。

[T. Mori, N. Tamiya, X. Jin, B. Jeon, S. Yoshie, K. Iijima, T. Ishizaki: Estimated expenditures for hip fractures using merged healthcare insurance data for individuals aged ≥ 75 years and long-term care insurance claims data in Japan. Archives of Osteoporosis, https://doi.org/10.1007/s11657-018-0448-2, 2018](#)

★本学看護科学専攻、共同研究者の柴山大賀先生の論文が Journal of Diabetes Investigation に掲載されました。

[T. Shibayama, H. Noguchi, H. Takahashi, N. Tamiya: Relationship between social engagement and diabetes incidence in a middle-aged population: Results from a longitudinal nationwide survey in Japan. Journal of Diabetes Investigation, doi: 10.1111/jdi.12820, 2018](#)

★前助教、日本財団国際フェローシップの山岡祐衣先生の論文が Pediatrics International に受理されました。

[Y. Yamaoka, N. Tamiya, A. Watanabe, Y. Miyazono, R. Tanaka, A. Matsuzawa, R. Sumazaki: Hospital-based care utilization of children with medical complexity in Japan. Pediatrics International, accepted 2018](#)

★前助教、現在客員研究員の森山葉子先生の論文が World Medical and Health Policy に掲載されました。

[Y. Moriyama, N. Tamiya, N. Kawachi, M. Miyairi: What Makes Super-Aged Nations Happier? Exploring Critical Factors of Happiness Among Middle-Aged Men and Women in Japan. World Medical and Health Policy, 10:1, 83-98, doi: 10.1002/wmh3.256 2018](#)

2018/04/1

研究室に新たに森 隆浩准教授（クロスアポイント）と杉山 雄大准教授（クロスアポイント）がメンバーに加わりました！！

2018/03/30

24th Health Services Research Seminar!好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2018年4月27日(金)

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 557室

①18:30~19:15 タイトル “The current status of advance care planning in Japan”

演者: Joshua Gallagher (筑波大学人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻)

②19:15~20:00 タイトル “介護保険利用者の生活と エンドオブライフケアについて~介護老人保健施設でのケアを通して~”

演者: 宮田 澄子 (介護老人保健施設 ごぎょうの里、筑波大学医学医療系ヘルスサービリティサーチ分野 客員研究員)

詳細は[こちら](#)。

♪♪♪♪♪♪

なお、本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日(3月8日予定)があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名:ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号:02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当:秘書(森田千代):[morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います(¥3,000) こちらもご参加ください。

2018/03/07

来年度 HSR 研究会 開催日程のお知らせ!

下記の日程で平成30年度のHSR研究会を開催予定です。皆様、お気軽にご参加ください。

第24回 HSR 研究会 H30年4月27日(金) 18:30~

第25回 HSR 研究会 H30年6月15日(金) 18:30~ (通常の第4金曜ではありませんので、ご注意ください)

第26回 HSR 研究会 H30年8月24日(金) 18:30~

第27回 HSR 研究会 H30年10月19日(金) 18:30~ (通常の第4金曜ではありませんので、ご注意ください)

第28回 HSR 研究会 H30年12月21日(金) 18:30~ (通常の第4金曜ではありませんので、ご注意ください)

第29回 HSR 研究会 H31年2月22日(金) 18:30~

2018/03/05

第33回日本国際保健医療学会東日本地方会 開催のお知らせ!

日付 : 2018年7月7日(土)

時間 : 09:30~17:00

場所 : 筑波大学 筑波キャンパス 大会会館

当研究室の田宮教授が大会長となり、来年度の東日本地方会を筑波大学大会会館にて開催する運びとなりました。

下記、URLにて事前登録を受付中です。皆様、ぜひご参加ください。

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/hsr/jaih/>

プログラム: ○大会長講演「グローバルエイジングに向けて日本が伝えるべきこと・学ぶべきこと」

○教育講演「職場や地域における輸入感染症対策—保健所医師の立場から」 「海外出張者/勤務者の医療リスク: 医師・管理者として知っておくべきこと」

○シンポジウム「輝くグローバルエイジングへの垣根なき対話」

○特別企画

産業技術総合研究所による介護ロボット体験

Death Cafe (英国で行われている「みんなで死を語る」イベント)を留学生が日本語でリードします)

第6回 International Conference on Global Aging (留学生や若手も含むエイジング関係の英語セッション)

若手セッション (学生・大学院生など対象)

○一般演題 ポスターのみ (英語セッションあり)

2018/01/29

第1回 筑波大学 開発研究センター シンポジウム 開催のお知らせ!

ご清聴ありがとうございました。

日付 : 2018年3月6日(火)

時間 : 14:30~17:25

場所 : 筑波大学 筑波キャンパス 春日エリア 情報メディアユニオン1階 ユニオン講義室

筑波大学の5つの開発研究センターが、その成果と今後の展開について語る第1回のシンポジウムが、産学連携本部主催で開催されます。

当研究室の田宮教授が、ヘルスサービス開発研究センターのセンター長として、講演されます。皆様、お気軽にご参加いただければと思います。

詳細は[こちら](#)。

2018/01/29

23rd Health Services Research Seminar!好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2018年2月23日(金)

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 431 室

①18:30~19:15 タイトル “『三方よし』の枠組みによる地域包括ケア政策評価の提案”

演者: 吉江 悟 (一般社団法人Neighborhood Care、筑波大学 非常勤研究員)

②19:15~20:00 タイトル “精神的な問題を抱える親と子どもの家族援助に関する研究”

演者: 田中 裕子 (筑波大学人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻社会精神保健学分野)

詳細は[こちら](#)。

♪♪♪♪♪

なお、本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日(3月8日予定)があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名:ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号:02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当:秘書(森田千代):[morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います(¥3,000) こちらもご参加ください。

2018/01/09

1月より、新しく 医学類 5年 安富 元彦さんがメンバーに加わりました。

2017/12/21

新刊案内! 田宮が共同編集いたしました「ヘルスサービスリサーチ入門~生活と調和した医療のために」が来る12月25日に発売されます! 皆様、ご一読ください!(^^)!

ヘルスサービスリサーチ入門 生活と調和した医療のために

田宮 菜奈子 編 小林 康毅 編 自然科学 > 医学・薬学

ISBN978-4-13-062419-0 発売日:2017年12月25日判型:A5 ページ数:256頁

#### 内容紹介

研究者から現場の医師まで幅広い執筆者による、関連分野との協働や学際的視点を取り入れたヘルスサービスリサーチの入門書。医療サービスの質を、構造、過程、結果の3つの概念のいずれかに焦点をあて、仮説を立てて分析をおこない、よりよいウェルビーイングに向けた健康サービスの向上をめざす



書籍の詳細は、こちら: <http://www.utp.or.jp/book/b324632.html>

2017/11/27

第22回ヘルスサービスリサーチ研究会 開催のお知らせ! 好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

日付 : 2017年12月22日(金)

時間 : 18:30~20:00

場所 : 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 431 室

①18:30~19:15 『地域包括ケアシステムの評価指標としての在宅日数の算出および関連する地域特性』

演者: 植嶋大晃 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

②19:15~20:00 『後期高齢者における認知症周辺症状に対する抗精神病薬処方-医療レセプト&介護認定 調査の連結データからわかること』

演者: 黒田直明 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野/コミュニティクリニック・つくば)

詳細は[こちら](#)

♪♪♪♪♪

なお、本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日(3月8日予定)があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名:ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号:02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当:秘書(森田千代):[morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います(¥3,000) こちらもご参加ください。

2017/10/24

ヘルスサービスリサーチ研究会開催日程のお知らせ！

★今後もヘルスサービスリサーチ研究会の下記の日程で開催を予定しています。

10月27日、12月22日、2月23日

なお、本セミナーは筑波大学大学院博士課程の講義と兼ねております。

講義名：ヘルスサービスリサーチ実践研究演習

科目番号：02EU576

2017/09/29

21st Health Services Research Seminar!

Date: October 27th 2017, 18:30~20:00

Place: Seminar room #431, Tokyo Campus, University of Tsukuba

日付：2017年10月27日(金)

時間：18:30~20:00

場所：筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 431 室

①18:30~19:15 タイトル “Development of a satisfaction survey in Long term care health facilities in Japan: Based on the Ohio Department of Aging-Resident Satisfaction Survey” / 『老人保健施設における利用者満足度尺度の開発』”

演者：金雪壁（筑波大学大学院人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻）

②19:15~20:00 タイトル 「医療提供体制の再構築 ～病院経営の視点も踏まえて～」

演者：石川 雅俊（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 客員研究員）

♪♪♪♪♪♪

なお、本セミナーは筑波大学大学院博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の開講課目を兼ねております。

参加時毎回の課題提出及び年度末の総括討論日（3月8日予定）があります。他専攻の方は、事前に履修の可否などは各専攻でご確認ください。

講義名：ヘルスサービスリサーチ実践研究演習 科目番号：02EU576

参加希望の方は氏名、所属、連絡先を添え下記連絡先までお申込みください。

受付担当：秘書（森田千代）：[morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp](mailto:morita.chiyo.ga@un.tsukuba.ac.jp) 研究会開催後は中華料理店にて懇親会を行います（¥3,000）こちらもご参加ください。

2017/09/28

The 5th International Conference on Global Aging が盛況のうちに終了！

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

9月27日（水）つくば国際会議場に於いて第5回 CGAT を開催いたしました。

様々な分野からエイジング関連に取り組む幅広い研究が一堂に会し、研究者や学生たちが未来の超高齢化社会について深く議論いたしました。会議では優れた研究を発表した学生2名に賞が贈られました。

— Young Scientist Award (受賞者) —

■ 金雪壁（ヒューマン・ケア科学専攻 博士課程）

Development of a Satisfaction Survey in LTC in Japan based on the Ohio Department of Aging-Resident Survey

■ Maria Morales（フロンティア医科学専攻 修士課程）

A stratified age analysis of factors related to length of stay at ER in a Japanese hospital

2017/09/06

The 5th International Conference on Global Aging 開催！

9月27日（水）10時から、つくば国際会議場（303室：[www.epochal.or.jp](http://www.epochal.or.jp)）に於いて、第5回 International Conference on Global Aging を開催いたします。高齢化は地球規模の緊急課題です。高齢化社会における諸課題に挑戦するには、世界の国々の経験をまず共有することが重要であると考えています。また、医療、介護、社会保障から、家族のあり方や死生観まで多岐にわたる社会、文化的背景の尊重が必須であり、分野横断的な取り組みが求められます。

今回、第5回 International Conference on Global Aging では、学問の壁を越えて、エイジング関連に取り組む幅広い研究が一堂に会し、研究者や学生たちが未来の超高齢化社会について深く議論いたします

皆様のご参加をお待ちしております。

当日、参加のみご希望の方は登録をお願いします。セッション8-5を選択して下さい。

TGSW2017のHP：<http://www.kokuren.tsukuba.ac.jp/TGSW2017/>

登録：<https://goo.gl/dhrAclJ>

プログラム：こちら

注：The 5th International Conference on Global Aging で発表される方、および chair の先生方の登録は必要ありません。

お問い合わせ：[felipe.tsukuba@hotmail.co.jp](mailto:felipe.tsukuba@hotmail.co.jp)（担当：サンドパウル・フェリーベ）

2017/07/07

ヘルスサービス開発研究センター 開所式を開催しました！！

おかげさまで、ヘルスサービス開発研究センターは、7月1日付けでスタートとなり、7月6日（木）13:30より開所式（看板上掲式）を行いました。